TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法- 義と認められた！

ローマの信徒への手紙 4:1-12

2026年8月8日 & 9日
余沢 武 牧師

1. 初めに

こんにちは。ジョン牧師と妻のアナさんを温かく迎え入れてくださり、ありがとうございます。お二人とも皆様の温かさを感謝していました。神の御心であるなら、お二人が TBC で仕えることを祈りましょう。

VBS が始まります。先週は三郷キャンパスで VBS が行われました。写真をご覧ください。今週は、渋谷キャンパスで行われます。神の守りと救いをお祈りしましょう。

私たちの新しい会堂建設計画であるインパクト・ビルディング・プロジェクト（IBP）のアップデートです。信仰をもってささげてくださりありがとうございます。神を賛美します！現段階で、4 億 9390 万円（650 万円増加）となり、目標額の 97.2%です。同じペースでささげ続けたら、3ヵ月以内に目標に達します。祈り続けてください。IBP にささげるときは、インパクトビルディングプロジェクトの封筒または、IBP を明記した封筒を使ってください。祈りましょう。

ローマの信徒への手紙では、私たちが皆、神を認めず、罪を犯し、神に裁かれることを学びました。今、私たちは―ユダヤ人も含め―律法を守ることによってではなく、信仰によって義とされ救われます。
今日は、「信仰によって義と認められる」とは、実際にはどういうことなのかを見ていきたいと思います。

2. 義と認められた！

(1)アブラハムは信じた

ローマの信徒への手紙 4:1-3 を見てみましょう。
「1:では、私たちがアブラハムを肉による先祖としていることについては、何と言うべきでしょう。2:もし、彼が行いによって義とされたのであれば、誇ってもよいが、神の前ではそれはできません。3:聖書は何と言っていますか。『アブラハムは神を信じた。それが彼の義と認められた』とあります。」

パウロは、多くのユダヤ人にとって、律法、つまり聖書を守ることによって義となる―神の基準を満たす―のではない、という教えを受け入れるのが難しいことを知っていました。なぜなら彼らは、アブラハムは自分たちの先祖と模範であり、神の御言葉に従うことによって義なる者と認められたと信じていたからです。

そこでパウロは、創世記 15:6「アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。」を引用し、アブラハムは神を信じたその信仰によって義と認められたことを説明しました。

ここで「認められた」と訳されている「credited to someone」という言葉は、もともと簿記用語で、誰かのアカウント（口座）に何かを入れるという意味があります。

たとえば、Amazon や PayPay から、10 ポイントあるいは 10 円、が私たちのアカウントに付与されたとします。その 10 円が、私たちのアカウントに「credited」された、つまり「加算された」ということです。神が私たちのアカウントに「義」を入れてくださるなら、それは私たちに義として加算され、認められたということです。

多くのユダヤ人が理解を間違えていたのは、この点でした。

アブラハムは神の御言葉に従うことによって「義」とされたのではありません。彼は神を信じたので、その信仰によって「義」が彼に加算されたのです。

では、アブラハムは神について何を信じたのでしょうか。説明します。
まず神はアブラハムに、神が示す土地へ行くようにと命じ、地上のすべての氏族をアブラハムを通して祝福すると言いました。カナンの地に着くと、神は「私はあなたの子孫にこの地を与える。」と彼に言いました。
アブラハムが甥のロトを救い出した時、神はアブラハムにこう言いました。「私はあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」
しかしアブラハムは「あなたは私に子孫を与えてくださいませんでした」と答えました。神は「あなた自身から生まれる者が跡を継ぐ。…あなたの子孫はこのように（空の星のように数えきれないほどに）なる」と返しました。アブラハムは 80 歳を過ぎていて、また妻も子どもを産むことができない状況にあった中で、アブラハムは信じました。そして「それが彼の義と認められた」のです。

なぜでしょうか。アブラハムは、自分の子孫を通して―彼の名前を知らなかったにも関わらず―すべての国々の人々が祝福、つまり救われる、信じました。彼

は、まだはっきりとは見えていませんでしたが、福音を見て信じました。
神は、後にエルサレムの神殿が建てられ神の民の罪のために動物がささげられる場所となるモリヤの山でイサクをささげるように言ったことによって、アブラハムに福音がどのように実現するのかを示されました。そこで、神はイサクが死ぬ代わりに、一頭の雄羊をいけにえとして備えてくださいました。
このため、後にイエスはこう言われました。**「あなたがたの父アブラハムは、私の日を見るのを楽しみにしていた。そして、それを見て、喜んだのである。」**
また、パウロは**ガラテヤの信徒への手紙 3:8** でこう言いました。**「聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを見越して、「すべての異邦人があなたによって祝福される」という福音をアブラハムに予告しました。」**

アブラハムは、前もって福音の一端を見ました。彼は、自分の子孫であるイエスを通して、すべての国々が祝福され、救われることを信じました。「主はそれを彼の義と認められた」のです。

ローマの信徒への手紙 4:4-5「4:ところで、働く者に対する報酬は恵みではなく、当然支払われるべきものと見なされます。5:しかし、不敬虔な者を義とされる方を信じる人は、働きがなくても、その信仰が義と認められます。」

パウロは行いによって義と認められようとすることと、信じることによって義と認められることの違いを説明しています。
私たちは働けば、賃金を受け取ることを求めます。私たちの権利です。雇い主には、私たちに賃金を支払う義務があります。反対に、働かなければ、何も受け取るべきではありません。それでも賃金を受け取ったとしたら、それは報酬ではなく、雇い主からの恵みの贈り物です。その場合はとても恵み深い雇い主ですね。

もしアブラハムが神に完全に神の基準に従っていたなら、神の命令を完全に守ったのだから、義と認められることを求めますが、アブラハムはそれをできませんでした。誰も神に完全に従うことができません。彼もまた、「不敬虔な者」でした。しかしアブラハムは恵みのたまものを与えられました。なぜでしょうか。
・アブラハムは「不敬虔な者を義とされる方」を信じました。恵み深い神がやがてアブラハムの子孫のイエスを完全ないけにえとして備えてくださり、私たちの罪を取り除き、義としてくださることを信じました。
・「それが彼の義と認められた」のです。アブラハムの罪は、イエスの血によって覆われました。アブラハムの不義がイエスのアカウントに加算され、そして、イエスの義が、アブラハムのアカウントに加算されました。
神はこのように罪人―アブラハムも、私たちも―を救います。どのように起こるのでしょうか。
アブラハムでも、私たちでも同じです。アブラハムは、私たちよりずっと立派な人だったかもしれません。しかし、彼は自分の妻について、二度も嘘をついて、また、子どもを得るために、妻の女奴隷ハガルと関係を持ちました。彼は神の目からすると罪人です。
しかし、アブラハムも私たちも、神がイエスを私たちの罪を取り除き、義を与えてくださるための完全ないけにえとして備えてくださることを信じるなら、私たちの罪はイエスの血によって覆われます。私たちの不義は、イエスのアカウントに加算されました。そしてイエスの義は私たちのアカウントに加算されます。

ここで、注意してほしいことは、罪は罪です。私たちは、依然として罪に満ちています。私たちの内に何か変わったわけではありません。しかし、イエスの義が私たちのアカウントに加算されたため、神は私たちを義と宣言してくださいます。イエスの義により、私たちは義と認められ、救われるのです。
私が神の御前で、完全な罪人―不道徳的で、汚れて、意地悪で、怒りに満ちた人間―として立っています。しかし、神がイエスを、私の罪を取り除き、義を与えてくださるために与えたことを知っているため、信じています。イエスを信頼し、従っていくと決心します。

私がまだ何もしていなくても、まだ何も変わっていなくても、依然として罪深いものであったとしても、私の罪はイエスの血によって覆われ、私の不義はイエスの上に置かれ、私はイエスの義を身にまとっています。義と認められています―永遠に義と認められるのです。

聖霊が私の内に働き始め、私が変わるように助けてくれます。いつの日か、私は完全に変えられるでしょう。しかし今は、まだ同じ罪人であっても、義と認められ救われています。これが、聖書が言う、「アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。」という言葉の意味です。

(2)ダビデも信じた

ローマの信徒への手紙 4:6-8 「6: 同じようにダビデも、行いがなくても神に義と認められた人の幸いを、こう言っています。(パウロは詩編 32 編 1－2 節を引用しています)7:「不法を赦され、罪を覆われた人は幸いである。8:主に罪をとがめられない人は幸いである。」

アブラハムだけではありません。偉大なユダヤ人の王であったダビデも、「行いとは関係なく、神から義と認められる人こそ幸いである」ことを知っていました。

ダビデはこう語っています、「不法を赦され、罪を覆われた人は幸いである。」これは、神殿にある「贖いの座」において、いけにえの血によって人々の罪が覆われることを指しています。

ダビデもまた、罪人でした。彼は姦淫と殺人の罪を犯しました。しかし、同時に、彼は贖いの座に覆われたいけにえの血―イエスの血を指す血―が彼の罪を覆うことに希望を置き赦されると信じました。

これこそが、パウロが私たちに知ってほしいことです。これが福音です。福音は最初から同じでした。アブラハムでも、ダビデでも、旧約聖書でも新約聖書でも、神によって義と認められたすべての人々は、イエスの内にある神の救いの計画を信じたからこそ、義と認められました―アブラハムのように。

(3)割礼のある者と割礼のない者

パウロはさらに続けます。

ローマの信徒への手紙 4:9-11 「[9:]では、この幸いは、割礼のある者だけに与えられるのでしょうか。それとも、割礼のない者にも与えられるのでしょうか。私たちは言います。「アブラハムの信仰が義と認められた」のです。[10:]どのようにしてそう認められたのでしょうか。割礼を受けてからですか、それとも、割礼を受ける前ですか。割礼を受けてからではなく、割礼を受ける前です。[11:]アブラハムは、割礼を受ける前に信仰によって義とされた証印として、割礼の印を受けたのです。…」

パウロはここで、アブラハムが「義と認められた」のは、「割礼を受けてからではなく、割礼を受ける前」だったことを、私たちに思い起こさせています。アブラハムが割礼を受けたのは、義と認められた少なくとも14年後に「義とされた証印として、割礼の印を受けたのです。」

パウロが、割礼を受けているから自分たちは救われていると考えていたユダヤ人たちに伝えたかったのは、割礼はあくまでもしるし、証印にすぎないということです。これは、私たちにとってのバプテスマにも似ています。アブラハムの子孫であるイエスを信じていないのであれば、そのしるし、証印は何の意味もありません。

ローマの信徒への手紙 4:11-12 「[11:]…こうして彼は、割礼のないままに信じるすべての人の父となり、彼らも義と認められました。[12:]また、彼は割礼の父ともなりました。割礼のある者にとってだけでなく、私たちの父アブラハムが割礼以前に持っていた信仰の足跡に従う者にとっても、父となったのです。」

パウロによれば、アブラハムは、割礼のある者と割礼のない者も、ユダヤ人とユダヤ人でない者も、イエスの義がアカウントに加算されて救われているすべての人々の父となりました。

では、皆さんへの質問です。
あなたはアブラハムの子、つまりクリスチャンですか。信じましたか。
自分の力では、神の前で正しくいるため、クリスチャンになるためには、全く何もすることができないということを信じていますか。そしてそれを可能にするために神がイエスを私たちのために与えてくださったことを信じていますか。

私たちがまず自分が何かを変えなければならないと考えているなら、福音を見失ってしまいます。

アブラハムは、まだ「不敬虔な者」であったときに、ただただ信じました。ダビデも、まだ罪深い人であったときに、ただただ信じました。これが、人が救われる唯一の方法です。

次のことを信じてください。
・私たちの罪はイエスの血に覆われること。私たちは完全に赦されます。
・イエスの義が私たちに加算されます。
・私たちは神の子どもとして受け入れられ―神は私たちが変わるように助けてくれます。

もし、あなたは自分が罪人と信じ、今、イエスを受け入れるなら、あなたも救われ、義と認められます。これが福音です。今、イエスを信じ、救われましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

先週の翻訳に誤訳がありましたので訂正いたします。

【誤】それゆえ、救われるために従わなければならないシステムは無く、救いを失う可能性があることもあります。
【正】それゆえ、救われるために従わなければならないシステムは無く、あなたが救いを失うことも絶対にあり得ないのです。

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg3226jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 6 日(日)1:00 pm ~ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9 月 20(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

急募!

奉仕者募集中!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性 2 名募集)

英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半~2ケ月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org